

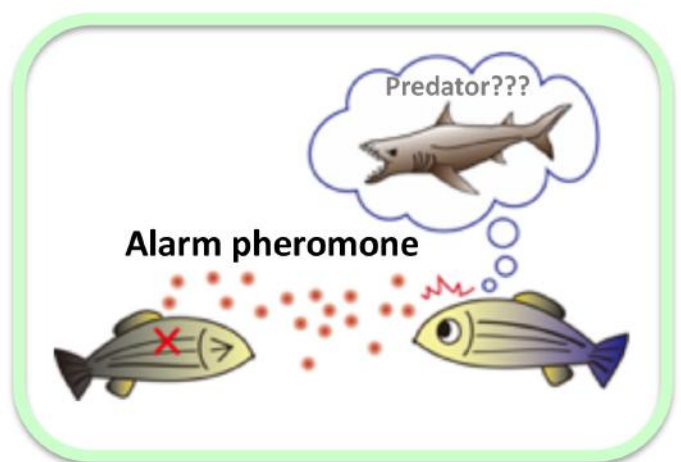
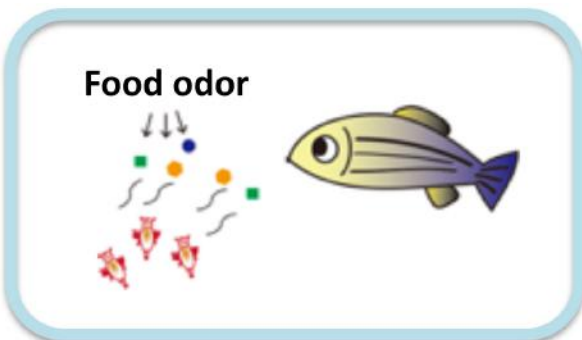
嗅覚行動の神経回路メカニズム —魚が好きな匂いと嫌いな匂い—

講師：吉原 良浩 先生

理化学研究所 脳神経科学研究センター
システム分子行動学研究チーム チームリーダー

日時：2020年7月27日(月)16:30-18:00

嗅覚系は物体から発せられる匂い分子を受容し、その情報を鼻から脳へと伝え、匂いのイメージを脳内に創造する神経システムである。また嗅覚系は「快・不快」あるいは「好き・嫌い」と表現される情動、さらには「記憶」と密接に関連した感覚システムでもある。私たちは、行動学・遺伝学・発生工学・神経解剖学・神経活動イメージングなど多様な実験手法を駆使できるモデル脊椎動物としてのゼブラフィッシュの利点を最大限に活用し、匂い入力から行動出力へと至る「好き・嫌い」の嗅覚神経回路メカニズムの解明へ向けての統合的研究を行っている。本講演では、嗅覚行動を司る神経回路メカニズムについて当研究室で得られた最新の知見を紹介する。



世話人：日比正彦 (hibi@bio.nagoya-u.ac.jp)

参加希望者は、事前に連絡してください。Zoom URLを前日までにお知らせします。

(生命理学博士前期過程の学生と教員の方は、連絡の必要はありません。NUCTとSlackで連絡します)